【教育目標】
進んで学ぶ子ども
思いやりのある子ども
たくましい子ども

夢に向かって

～未来を奏でるきらめく感性～

学校だより　No.17
令和３年２月２２日
中央台東小学校
校長　林　和樹

進級・進学に向けて、「夢・希望・目標」を抱かせるために

新規感染者数が減少、本県でも８２日ぶりに感染確認「０」が報道されました。本市においても、**「いわき市感染防止集中対策一斉行動」が解除**。１週間の移行期間を経て、いわき市教育委員会から配付されました２月１９日付け「保護者の皆様へ」によって、これまでの「児童と同居する家族に発熱等の風邪症状が見られる場合も」出席を見合わせる対応を、**「児童本人のみ」に戻す**ことができました。これまでたいへんご苦労をおかけしたことを、改めて、お詫び申し上げます。

また、市教委から学校の行動基準における対応も**『レベル１』に引き下げる**との通知もあり、これまで停止・制限してきた「感染リスクの高い活動」を徐々に再開、以前の学校生活に戻してまいります。本年度の登校日もあと２２日。進級・進学に向けて大切なこの時期に、**感染状況が一定の落ち着き**が見られることにほっとしています。引き続き、感染症対策等を徹底しながら、**子どもたちが安心してしっかりと今年度のまとめに取り組み、ゆとりをもって新年度に向けての準備、そして、「夢・希望・目標」を抱くことができるように取り組んでまいります。**

つきましては、今後も家庭においても感染予防・拡大防止をお願いいたします。また、同居する家族の方が感染した場合や濃厚接触者となった場合、ＰＣＲ検査等を受けられる場合などは、これまで同様、学校にご連絡・ご相談をお願いいたします。

「GIGAスクール構想」による、学校・授業改革が進められています。

新型コロナウイルス感染症による突然の臨時休業の際には、たいへんなご心配とご苦労をおかけいたしました。学校に登校できることの大切さ、子どもの学びを止めないことの大切さを痛感させられました。現在、国や県、そして、いわき市教育委員会では、学校教育のＩＣＴ化を図る「ＧＩＧＡスクール構想」を加速化しています。具体的には、**一人一台のタブレット端末や大型電子黒板とデジタル教科書の全学級への配置、高速光回線によるＷｉ－Ｆｉ環境の整備**も進んでいます。２月２４日の授業参観の際にも、一部ご覧いただけるかと思います。子どもたちの適応の早さに驚きます。教職員も負けないように研修の機会を増やし、一人一人の実態に応じながら、多様な学び方ができるように、学校全体で授業改革に取り組んでまいります。

今年度初めての授業参観、お待ちしております。

明後日（２４日）の授業参観、コロナ禍のためとは言え、今年度初めてとなってしまいました。教室で学ぶ姿をご覧いただけなかったこと、たいへん申し訳なく思っております。また、「三密」を避けるため、地区ごとに２・３校時に分けての実施、さらに、懇談会は行わないこともお詫びいたします。なお、校舎内でのマスクの着用、廊下及び教室後方からの参観、参観中の会話はひかえるなどのご配慮をお願いいたします。詳しくは、１月２９日付けで配付しました「授業参観のご案内」を再度ご確認ください。よろしくお願いいたします。

災害や事故防止には、日頃からの備えが大切。「ヒヤリ・ハッと」を見逃さない！

２月１３日午後１１時８分頃、震度５強の地震に肝を冷やしました。１０年前の東日本大震災を誰もが思い出したことと思います。幸いにも、今回は学校及び本校児童宅に大きな被害はありませんでした。しかし、翌々日の登校日、暴風雨による繰り上げ下校を行うことに。４月１３日、暴風雨の中での引き渡しが脳裏をよぎりました。改めて、日頃の備えの大切さを痛感しました。「ハインリッヒの法則」と言う重大事故の未然防止のための理論の中に**「ヒヤリハット報告」**というものがあります。ちょっとしたトラブルやミスを見逃さず、問題点を共有化、対策を講じることが重大事故、問題の複雑・深刻化を防ぐことに有効だと言われています。ぜひ、ご家庭でも今回の地震や暴風雨での「ヒヤリ・ハッと」を話し合ってください。

実は最近、学校への「危ない**自転車乗り**」「**帰宅時間**が遅い」「**携帯ゲーム**でのトラブル」などのヒヤリハット報告が多く寄せられています。大きな問題になる前にその都度指導していますが、ご家庭でも約束・ルールの再度の確認をお願いします。